

モデル
コース

①

日吉神社巡りコース

惣門～本殿～狛犬～三猿～三重塔

【所要時間：1時間】

日吉神社は、町の中心にあって神戸山王まつりの舞台ともなる、文化遺産と歴史の宝庫です。弘仁8年(817年)に最澄(伝教大師)が創建した神社で、近江坂本の日吉大権現を主神として7柱の神が祀られています。神社境内には、神仏習合の名残の三重塔が建立され、国の重要文化財に指定されています。

惣門

朱色の門、屋根がついた両部鳥居は天台宗密教の教えから来ています。



日吉神社本殿

江戸初期の社殿建築の代表的な建物で、桧皮葺、流れ造り、朱塗の社殿で、向拝の両柱及び梁等、多く原型を残しています。県重要文化財。



石造狛犬

西保城主不破河内守光治の寄進によるもので、たてがみは流れるような線をなしており、簡素だが力強い彫刻となっています。国重要文化財。



三猿

境内の東側に高く築かれた石壇の上に、石でつくられた神の使いとされる、見ざる、聞かざる、言わざるの三猿があります。



三重塔

永正年間斎藤利綱が建立し、天正13年(1585年)稲葉一鉄が修造したものです、規模壮大、室町時代の建築様式を遺憾なく発揮した貴重な塔です。初層入口の棟唐戸に三巴紋の装飾彫刻が施されています。相輪頂上までの高さは24.6メートルです。国重要文化財。

